

## 特任助教

### 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 （遺伝子治療・再生医学分野 ならびに南九州先端医療開発センター）

癌特異的増殖・殺傷するように遺伝子改変した「腫瘍溶解性ウイルス」(OV)に、免疫遺伝子を搭載して劇的な癌免疫誘導を可能とする「腫瘍溶解性免疫治療（癌免疫遺伝子・ウイルス治療）」は、2015年末の欧米医薬承認のように、革新的な癌免疫治療の研究分野として世界的に期待されています。我々は癌免疫遺伝子治療の研究を欧米で25年程前に世界に先駆け開発し、その後、従来技術を凌ぐ次世代OVを網羅的に作製・解析可能な唯一のプラットフォーム技術の「多因子制御の増殖型アデノウイルス:m-CRA」を、本邦で独自開発しました。第一弾医薬のSurv.m-CRA-1は、既存・競合医薬の性能を凌ぎ、さらに本学でのFirst-In-Humanの医師主導治験でも有望な治療効果を示しています。グローバル実用化に向けて推進し(AMED革新がん事業)、膵癌についても本年度に医師主導治験を開始する予定です(AMED橋渡し事業シーズンC)。また癌転移も有効に治療できる免疫遺伝子搭載のSurv.m-CRA-2の非臨床開発も進行中で(AMED橋渡し事業シーズンB)、さらに新規免疫誘導遺伝子搭載m-CRAの網羅的な開発(基礎研究)を強力に進めています。

また本学では「基礎研究で創出される創薬・医療機器・再生医療等製品のシーズを、実用化(産業化)まで切れ目なく研究開発を進める」ことを目的として、南九州先端医療開発センターを設置しました。同センターのメインプロジェクトの一つとして、本シーズの橋渡し研究も強力に進めています。

今回、「革新的な癌免疫遺伝子・ウイルス治療を目指した新規免疫遺伝子搭載のm-CRA開発の基礎研究」ならびに「本シーズンも含めた本学の橋渡し研究」に、熱意を持って取り組む**特任助教1-2名**を募集します。

1. **所属**：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
2. **職名・人員**：特任助教 1-2名
3. **内容**：上記の研究、関連する教育・その他の業務
4. **着任時期**：2020年4月以降
5. **応募資格**：博士の学位取得後10年以内の若手研究者で、分子生物学分野で十分な研究実績(原則としてポストドク)を持つ、意欲的かつ協調性がある方。
6. **問い合わせ先**：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野  
電話番号:099-275-5219

e-mail: gt-sec@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp